

BPW News Letter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Clubs of JAPAN



Japan

2004.7.7.

Vol.78

特集

Beijing + 10

[CONTENTS]

巻頭 Beijing+10:BPW の役割
連合会会長 平松昌子
会議報告
タイ・バンコク 2004.6/30-7/2

会員の声・意見交換(1)
テーマ“あなたにとって BPW とは？”

2004 年第2回役員会報告

各常任委員会からお知らせ
T シャツ販売・通販(財務委員会)
HP 個人情報(広報委員会)
第1回 BPW-student の集い報告
(ヤングBPW委員会)
インターン募集(国際委員会)
会員増大を!(組織委員会)
ブロック研究会・スピーチコンテスト
今後の日程(企画委員会)

事務局動静/編集後記

日本BPW連合会ニュースレター

発行人:平松昌子 広報委員会編集

日本BPW連合会事務局

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 3-5-12-116

TEL.03-3348-7644

FAX.03-3348-7648

E-mail=info@bpw-japan.com

ホームページ URL

http://www.bpw-japan.com

Beijing+10 ~ この10年・あなたは変わりましたか ~

連合会会長 平松 昌子

1995年に北京会議が開催された時、会長としてBPWの方針をきちんと決められなかったことが、心のしこりとなって残ってきました。とにかく北京へ行き、女性たちの熱気を体験しながら、あの北京会議で採択された「行動綱領」がその後の女性たちの行動指針として、法律や制度にこれほど大きな影響をもたらすとは自覚していなかったのです。(北京会議=会報27号に掲載)

この「行動綱領」には、以下の12項目があり、さらに、それぞれを実現するための戦略目標及びとるべき行動が明記されています。

- | | | | |
|----------------------|-------------|------------------|------------|
| 1.女性と貧困 | 2.女性への教育と訓練 | 3.女性と健康 | 4.女性に対する暴力 |
| 5.武力紛争下の女性 | 6.女性と経済 | 7.権力及び意志決定に於ける女性 | |
| 8.女性の地位向上のための制度的な仕組み | 9.女性の人権 | | |
| 10.女性とメディア | 11.女性と環境 | 12.少女 | |

“北京+10”は、行動綱領にそって各国がどのような成果を上げてきたか、或いは後退しているかを点検し、男女共同参画社会実現に向けて残された課題を検索するのが作業の目的です。

既に国連からは、各国政府に質問状が出されており、日本でも、政府は5月に回答書を提出。NGOも、JAWW(日本女性監視機構)が中心になって報告書をまとめました。今後の手順としては、今年中に、**国 地域**という順で問題を整理し、最終的には来年3月の 国連・女性の地位委員会(CSW)で討議されます。(政府の回答書は内閣府HPに掲載)

アジア太平洋地域の調整は、NGOが、7月にバンコクでフォーラムを開いたのに続いて、GOは9月に同じくバンコクで上級担当者会議を開きます。
(NGOフォーラム・次ページ参照)

BPWとしての役割は何か 日本のNGO見解とりまとめには積極的に参加出来ませんでした。国際団体としてアジア太平洋地域での比較報告をすることになりました。タイトルは、「**2歩前進、1歩後退**」。併せて各国連合会にアンケートを依頼。これは、日本でも各クラブ宛に発送されました。

質問は“北京行動綱領・12領域”の中で”:

- 1)この10年間に進歩したと思うのは何か。
- 2)他国の例であっても、進歩したと思えるのは、何か。
- 3)後退していると思えるのは、何か。

BPW International のノック副会長は地元開催ということもあって「BPWとして何かしようではないか」という提案に積極的に対応して、{Two Steps Forward, One Step Backward} とのテーマで各国アンケートを実施し、主催者との調整を行って、BPW ワークショップの実現に漕ぎつけたものです。

各クラブ宛に発送された上記の質問状に対して幾つかのクラブから回答が寄せられました。私は、10年前の至らなかつた反省を込めて、バンコクで日本の状況を報告しました。みなさんも、もう一度、この10年の女性の地位に見る「**前進と後退**」について考えてみてください。

Beijing+10 アジア会議

Asia-Pacific NGO Forum 2004 on Beijing +10

2004年6月30日 - 7月2日 バンコク/タイ

北京会議から10年を前に、北京行動綱領その後を話し合うアジア・太平洋地域NGO女性フォーラム

フォーラムへの参加者は主催者の当初予想を大きく上回る800人、参加国は35ヶ国に達した。大会初日に100人も未登録者が受付に列を作ったということからも主催者の混乱は想像できるだろう。

今回のフォーラムで注目したいのは、「ミニ・フィルム・フェスティバル(ミニ映画祭)」が組み込まれたこと。これは、改めて女性問題の複雑さ、深刻さを考えさせる鍵となった。

また、最終日、最終文書を採択するための全体会議で若い女性たちの中から「レスピアンを女性の権利として認める」よう求めた強硬な発言がでるなど、北京会議時代とは異なる新しい世代が育ちつつあることも実感させられた。(あの頃の小学生が社会人だもの...)

会議の一部を紹介しますが、詳細はHPをご覧ください。

1) ワークショップ

北京行動綱領にある12の問題領域に従って、参加団体が単独で或いは連合して意見を交換し、課題を検討する場がワークショップ。

例えばA) 貧困と女性では、5つのWSが生まれ、「東アジアにおける工業化経済がもたらす新しい貧困」=主催 EAWF(東アジア女性フォーラム)ほか5会場という具合。WSの総計は69だった。

2) BPWのワークショップ

BPW Internationalは「2歩前進・1歩後退」タイトルで域内女性の成功と失敗の事例を報告。

「経済危機がタイ女性管理職のガラスの天井を砕いた」、「日本は何故GEM#44なのか」、「シンガポール経済に占める女性の役割」、「韓国に於ける女性の進出」。会場の確保と設備の点検、発言者の調整など、本番までいろいろ苦労をしたようだが、広い会場に多数の参加者が集った。

3) ミニ映画祭

何故、「映画祭」なのかに疑問を抱いたが、映像の持つ迫力は半端なレポートを上回っていた。全て、女性を扱ったドキュメントフィルムであり、既に上映されたもの、未発表ものなど取り混ぜての上映で、主催者は、決めてからの時間があまりにも短かったので、あえて「ミニ・フェスティバル」

として実施に踏み切ったと述べている。上映に際し、可能な限り制作関係者が出席して質疑に応じたことも、成功の1因。

上映作品は約25本。日本からは2作品。その一つは、立命館大学学生による「日本での選挙とマスコミ報道」(5分)。「大学のゼミで、日本の選挙報道に女性がどう描かれているかを考えるために制作した」という制作意図の説明に対し、会場からは「カメラは女性?」などの質問があった。

しかし、印象に残った作品はどれも女性たちの苦しい状況を描いたドキュメント。

一つはイランの作品で「女性刑務所」。女性監督は、「イランの人口は650万人、そして受刑者は400万人。つまり、イラン人の多くが刑務所を体験している現実を踏まえ、その生活を通して女性の姿を訴えたかった」とコメントしている。淡々と描かれる刑務所内での女性囚の日常と彼女たちの数奇な人生。最後に17年を刑務所で過ごした主人公が、暗い刑務所の出口から太陽に照らされた街に向かう後ろ姿で映画は終わったが...

この他、ネパールの作品で、夫が死亡したことで身につけていた腕輪も耳飾りも全てを暴力的に奪われ、悪病神として親族からも追はれ女性が、無の中で新しい生き方を見つける「自由への模索」など印象は強烈だった。日本で上映する機会はないだろうか。

5) 最終文書の採択について

印刷文書の配布は間に合わず、近日中にHPに掲載予定。(HPアドレスは後記)

6) 報告書のシンボルカラーについて

今回の報告書は、パープル・レポートと総称され各国とも表紙に紫色を使用するが、これまで:

1995 北京の報告書「イエロー・ブック」

2000 北京+5「レッド・ブック」

この縮小版は「ブルー・ブック」

以上が、AP-NGO-Forumのあらましです。

上記関連のお知らせ

関連記事は、最終文書も含め、下記にアクセスして下さい。<http://ap-ngo-forum.isis.women.org>

「北京+10」に関するアンケート調査に対する各クラブの回答は、BPW ホームページに掲載します。

日本NGOレポート2004「北京+10に向けて」(パープル・ブック)は、JAWW(日本女性監視機構)が発行しています。(連絡先:3417764801@jcom.home.ne.jp またはFAX03-3963-3825)

新企画 会員の声・意見交換

第1回テーマ “あなたにとってBPWとは？”

2004年度第1回評議会では、せっかくの機会なので全国から集まった方々の意見を聞き、いろいろなクラブの活動の実態を知ることができました。評議会参加は、会長だけですので、今後はもっと多くの会員のBPWに対する考えを聞いていきたいと思って、このコーナーを設けました。第1回目のテーマに寄せられた声を紹介しします。

「私にとってのBPW」 町田 佳世子 (BPW 札幌クラブ)
私はまだ会員歴一年半の新人ですが、その短い期間に多くのことをBPWの皆様や活動から学びました。

最も重要なことは「真の助け合いは信頼の上に成り立つ」ということです。BPWのメンバーは様々な形で助け合っています。自分の仲間を積極的に紹介し合い、そこから新たな仕事やネットワークが広がっていくように働きかけ合うこともその一つです。私自身も様々な分野の方をご紹介いただき、自分の世界を広げることができました。積極的に紹介し合うということは、互いが信頼に足る者であるということの確信なしにはできません。「信頼する」、それはプロとしての自覚と自立を認め合っていることだと思います。そのような認め合いがしっかりと存在するのがBPWです。

紹介し合うためには「自分を積極的に売り込むこと」が必要で、それは見せびらかしではなく絶え間ない自己研鑽の結果であり、感動を与えるものだということも実感しました。いつでも誰もが自立し甘えない、ゆえに助け合う、そのようなBPWは、私にとって常に自分を奮い立たせる場になっています。

(北海道東海大学国際文化学部 助教授)

「私にとってのBPW」 栗林 英子 (BPW 東京クラブ)
ちょっと敷居が高かったのですが、安陪陽子BPW東京クラブ会長のご推薦を受け、3年前からBPWの仲間入りをさせて頂きました。グローバルで確かな視点と人格とを兼ね備えた素晴らしい方々との出会いが始まったわけです。

これまでに、東京クラブの毎月の例会、連合会の高松大会、名古屋大会、更にBPWIアジア太平洋地域会議に参加させて頂きました。連合会会長、副会長、各クラブ会長等をはじめ各会員が国内外でオピニオンリーダーとして強靱な意志と行動力を持ち活躍されている姿を拝見し、緊張感の中にも「自ら何かをやるう」という力が私に湧いてきます。気持も体も動きます。BPWは今、私の原動力となりました。しかし、私自身はまだまだ力不足で、学ぶこと、指導、支援して頂くことばかりです。

現在、各クラブとも会員数は減少傾向のようですが、この素晴らしい会の存在を一人でも多く広め、BPW発展のため微力ながら頑張りたいと思います。

(社会保険労務士)

次回のテーマは“BPWの資金難を解決するには？” 〆切8月末迄
送り先:メール Nobuk9016@aol.com または FAX095-822-9016 まで

2004年度第2回連合会役員会報告

2004年6月26日(土)12:00~16:00 於:連合会事務局/欠席:長田

<p>議題</p> <p>事業計画進行状況確認及び検討</p> <p>(1)企画委員会(予算 15万円) ブロック研究会 ヤングスピーチコンテスト (今後の日程は別表参照)</p> <p>(2)組織委員会 組織拡大(12%以上) 名簿作成...各クラブで最終確認 連絡先の選択及び職業記入 組織拡大について...目標 12%! 各ブロック研究会開催月を 組織拡大月間に設定 「会員数の推移グラフ」</p> <p>(3)国際委員会 UN-CSW インターン募集開始 コンgresについて(に記載)</p> <p>(4)広報委員会 ニューズター新企画/全国から意見募集 緊急課題「個人情報の扱い」 (本紙 4 ページ参照))</p>	<p>(5)財務委員会 通販:連合会通販及びクラブ通販 Tシャツ販売について(別記参照) コンgresに在庫バッジを利用</p> <p>(6)ヤング委員会 ヤングスピーチコンテスト メンター登録...登録用紙をメールで発送 BPW-student 発会報告(別記参照)</p> <p>仙台大会について ・基調講演/シンポジウムについて: 担当クラブ実行委員会と再検討中 ・分科会(案) 1)女性と政治 2)女性指導者の育成 3)働き方の多様性 4)働く女性の老後 この結果を、男女共同参画局や行</p>	<p>政機関に陳情書・要望書・提案を出せるような形にまとめる。 ・名刺交換会企画...基調講演と分科会の中の1時間</p> <p>コンgresについて ・コンgres情報の発信は適宜行う(7月後半に登録方法などが、BPWIのwebに掲載予定) ・日本から決議案を提出する ・独自のワークショップを企画する ・BPWI役員への立候補も考える</p> <p>その他 北京+10:アジア太平洋NGOフォーラム 2004年6/30~7/6 平松会長が出席し、BPW主催のシンポジウムで発言予定。(本紙2ページ参照)</p>
---	---	---

BPW ロゴマーク入りTシャツ販売! 財務委員会

この夏、連合会では背中襟元にBPWロゴの入ったTシャツ(半袖)を販売します。リゾートに、タウン着のインナーに、イベントのユニフォームとしてご活用下さい。

1枚 1000円。色は4色(白・グレー・黒・青緑)、サイズはM・L・LLです。(小さめなので、普通より1サイズ上をご注文下さい。)

また、昨年同様、紀州梅干の通販も続きます。各クラブからの通販申込みも受付けており、素麺の通販(長崎クラブ)のチラシを配布致します。

HP上の個人情報について

広報委員会

先般、既に退会した会員（元・連合会副会長）が以前HPに掲載した連絡先を検索サイトで見た一般の方からBPWの活動に関する問い合わせがありました。この事で、元会員からHP上の個人情報管理にクレームの連絡が入りました。

連合会では、各ブロック研究会などのイベント情報をニュースレターに掲載し、さらにHP上でも読めるようにしております。これは、イベントの成功に少しでもお手伝いできればという配慮です。今後、同様なトラブルを避けるために、下記の点についてご了承下さい。

1) ブロック研究会や各クラブのイベントなどの連絡先や人物紹介の場合に、電話番号・メールアドレス等を掲載すると、必ずHPに掲載され、その後BPWのHPから削除しても検索サイトなどのデータに残る可能性があります。

2) ニュースレター用に提出された原稿などの場合、情報を頂いたクラブや個人の方には、これまで通り、印刷前に必ず内容のチェックをお願いします。

3) 個人の連絡先を掲載したくない場合、フリーメールアドレス等をご利用ください。

今回の件は、一般の方もBPWのHPをご覧になり、活動に興味を持って下さった結果と嬉しく受け止めております。

事務局動静（特記事項のみ）

<5月>

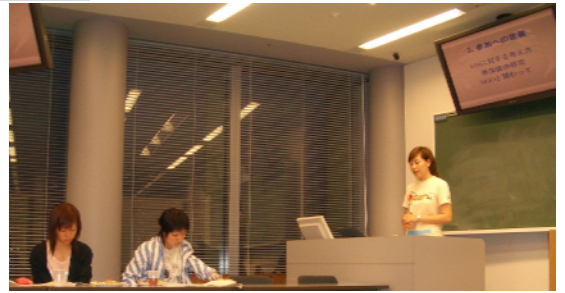
- 7日 国際婦人年連絡会常任委員会
- 11日 国際婦人年連絡会による平和集会（津田ホール）
- 24日 国際婦人年連絡会 総会
- 26日 CSWなどの報告を聞く会（内閣府）
- <6月>
- 11日・16日 国連NGO国内委員会として、国連総会代表への人選、中東交流の件外務省への申し入れ
- 25日 官房長官による懇親会（官邸）
- 26日 第2回BPW連合会役員会

編集後記：情報はたくさんあるのですが、早くみなさんに読んでもらいたい内容を優先して掲載し、夏休み前の発行としました。多くの方からのご意見をお待ちしています。（黒）

“第1回 BPW-studentの集い”

ヤングBPW委員会

去る5月18日にBPW学生（BPWS）の立ち上げを東京にて行いました10人の女子学生が集まり、BPWSコアメンバーでもある沓名典子さんのCSWインターン報告をメインとしてアットホームな雰囲気になりました。



当日は東京クラブ澤田順さんのお話や平松昌子会長ら先輩方の参加、そしてBPWI副会長Nok氏から激励のメッセージも送っていただき参加者に十分満足してもらえる会を催すことができました。翌日開設されたBPWSのメーリングリストは徐々に会員を増やし、登録者は6月末現在25名です。各地での講演、催し物、UN職員募集などの情報提供と会員間の交流を二つの柱とし、そこから発展して立ち上げの会に続いて第二回目になるお茶会も先日新宿で行いました。女子学生達の活動に期待しつつ見守っていきたくと思います。会員の皆様にはサポートをよろしく願いいたします。これから各地の女子学生達に登録を呼びかけますので、BPWSへ各地での催し物など情報を提供いただける方は二ノ宮まで御一報願います。

2004年度UN-CSWインターン募集開始

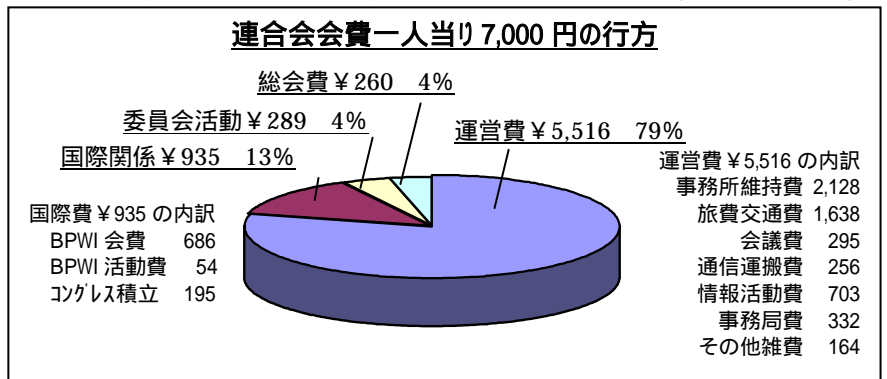
国際委員会

2005年3月1～12日（予定）、NYで開催される第49回国連女性の地位委員会へ派遣するインターンを募集します。次代の女性を育てる事業ですので、お知り合いの方に声をかけて頂きますよう、よろしくお願いします。

会員増大を！各クラブで12%増を!!

組織委員会

会員数の減少傾向をストップさせましょう。3ページのグラフを見て下さい。12%upで、現状では、やっと700人強。でも、各クラブが、一歩ずつでいいのです。10人が11人に、20人が22人に。全体で1年後に700人、2年後は800人、3年後には1000人…。数は力です。



ブロック研究会・ヤングスピーチコンテスト今後の予定

企画委員会

（担当）	ブロック研究会	スピーチコンテスト
北海道・東北（山形）	10月10日（日）講師・徳永幾久 “歴史から学ぶ、平和のために今、できること/布が語る女たちの願う平和”	ブロック研究会の講演の前に開催。
関東山梨（関東）	11月3日（土）講師・渥美雅子氏 演題未定	ブロック研究会時に開催。
中部（東海）	5月29日（土）終了	10月予定。各クラブから候補選出。
近畿（大阪）	11月6日（土）演題・講師ともに未定	未定
西日本（香川）	10月30日（土）シンポジウム形式 テーマ未定	香川クラブで開催し、総会に代表を出す予定。